

東播磨港小型船舶係留施設の管理運営に関する評価【平成 24～28 年度】

(平成 28 年 10 月 14 日(金) 東播磨港小型船舶係留施設指定管理者候補者選定委員会)

1 施設維持管理業務

- ・ 利用者アンケート調査の結果(H28)によると、施設の点検・保守状況は「大変満足」と「やや満足」の計が 57.7%、施設の清掃状況は「大変満足」と「やや満足」の計が 63.3%と概ね良好な評価を得ており、適切な維持管理がなされていると認められる。維持管理は施設の基本的サービスであるため、一層の利用者満足度向上を目指して取り組みを進める必要がある。

2 運営業務

- ・ 日常の対応は「大変満足」と「やや満足」の計が 67.0%、ホームページ・チラシ等による情報提供は「大変満足」と「やや満足」の計が 58.5%と概ね良好な評価を得ているが、事故・台風など緊急時の対応については「大変満足」と「やや満足」の計が 51.5%に止まるため、適正に対応すべきである。

3 利用状況

- ・ プレジャーボート所有者の高齢化や社会情勢の変化に伴い、プレジャーボート艇数は全国的に減少傾向にあるが、施設の PR を通じて県の放置艇対策に協力するなどの取り組みの結果、本指定期間開始前よりも艇置隻数が増加しており評価できる。引き続き、施設の利用促進に努めることが必要である。

4 収支状況

- ・ 協定で定めた県への還付金を確実に支払っている。

5 運営体制

- ・ 要望・苦情への対応は「大変満足」と「やや満足」の計が 54.5%に止まるため、アンケート調査等で利用者ニーズを的確に捉えて対応すべきである。
- ・ 加古川海上保安署等の協力のもと安全講習会を実施するなど利用者サービスに取り組んでいるが、講習会等の利用者へのサービスは「大変満足」と「やや満足」の計が 54.1%に止まっており、より一層の利用者サービス向上に取り組むべきである。

(参考)

東播磨港小型船舶係留施設指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職
松木 哲	神戸商船大学名誉教授
山下 和雄	神戸大学大学院海事科学研究科准教授
和田 貴美子	中小企業診断士
濱 浩二	兵庫県県土整備部土木局長